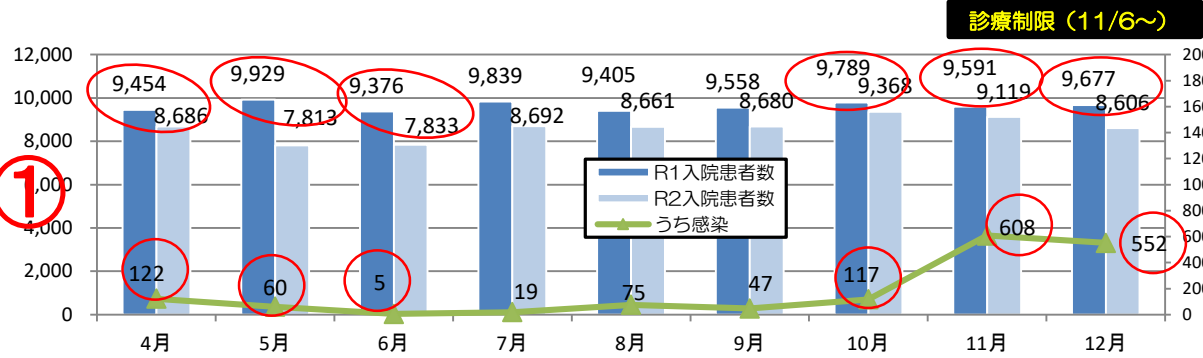


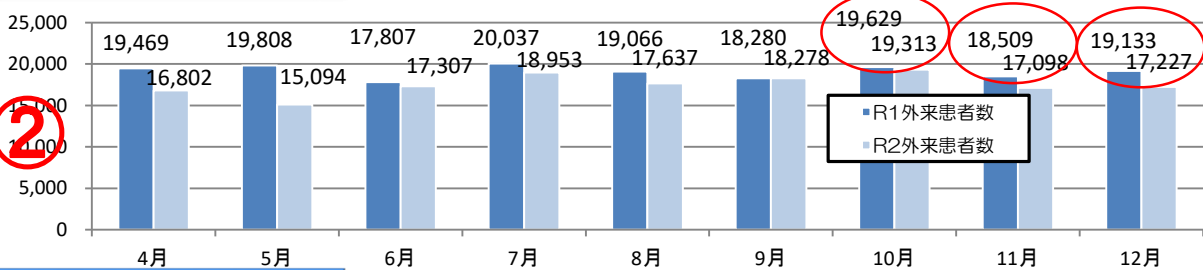
I R2年度決算見込み

1 R2年度入院患者数実績

当院ではR2年2月からコロナ感染者等を受入れており、受入体制を確保するためICU2床を休床したこと等により年度当初は患者数が減少した。また、10月に入り感染者等が急増したため11月6日から入院外来ともに60%から70%の診療制限を実施した。



2 R2年度外来患者数実績



3 R2年度業績見込み

新規取組による収益増

③

- 発熱外来 +3,000万円
- 夜間看護補助体制加算 +6,500万円
- 地域医療体制確保加算 +3,600万円
- 産婦人科医師増 +1億3,500万円
- 神経内科医師増 +5,700万円
- 感染症病棟 +1億2,100万円

コロナの影響

- 診療制限や空床確保に伴う遺失収益 +4億4,600万円
- 十国の補助金

	R2当初予算	R2決算見込み	決見-予算
医業収益	10,234	9,242	▲992
医業費用	11,448	11,198	▲250
医業収支	▲1,214	▲1,956	▲742
単年度資金収支	61	557	496
資金収支累計額	▲889	▲371	518
資金不足比率	8.5%	3.9%	▲4.6P

④

II R3年度予算案

1 R3年度の新たな取組

⑤

医師確保

- 腎臓内科新設による収益増 +7,900万円
- 産婦人科病棟の再開効果の通年化等 +5,600万円

人材の確保・育成

- 薬剤師奨学金返済支援制度の開始
- 精神看護認定看護師・NST専門療法士・がん専門薬剤師の育成

サービス向上

- コンビニエンスストア誘致の着手
- 入院食の充実

発信力強化

- YouTube配信事業の強化

2 R3年度業績見込み

(人/百万円)

	R3当初予算	R3予算-R2予算	R3予算-R2決見
入院患者数/日	320	▲17	39
外来患者数/日	944	▲29	91
医業収益	10,118	▲116	876
医業費用	11,951	503	753
単年度資金収支	▲641	▲702	▲1,198
資金収支累計額	▲1,012	▲123	▲641
資金不足比率	9.8%	1.3P	5.9P

⑥

予定患者数はコロナの影響を見込むも、R2年4~6月の極端な落ち込みは想定せず、R2年度下期の実績を基本に算定した。

コロナの影響を踏まえ人件費の独自削減等で黒字予算としていたH31、R2年度から一転して赤字予算としている。

R3年度も当院は新型コロナウイルスの受入体制を維持し、地域医療の崩壊を防ぐ防波堤となる。